

2025-055

研究課題名	Outerbridge Kashiwagi 法施行後にスプリント療法を実施した症例の治療成績の検討
実施責任者	所属・職名： リハビリテーション部 作業療法士
	氏名： 早川 友貴
研究の概要	<p>変形性肘関節症に対し当院で Outerbridge Kashiwagi 法（OK法）を行い、リハビリを実施した患者様が対象となります。</p> <p>本術式は、骨の変形により肘関節の可動域制限や疼痛をきたした患者様に対して、骨に直径約 2.0 cmの穴を空けることで骨同士の干渉を改善し、疼痛や可動域を改善させるものです。</p> <p>術後翌日からリハビリを行うことが重要とされていますが、装具を用いたリハビリについての報告は少ないです。</p> <p>術前とリハビリ最終時の肘関節可動域と日常生活機能に関するアンケートの結果を過去の研究と比較し、装具を用いたリハビリの効果を明らかにすることを目的としています。</p>
対象となる個人情報	肘関節可動域、日常生活機能、年齢、性別、既往歴、手術待期期間、セラピー期間
実施の期間	西暦 2023年 1月 1日より
	西暦 2025年 7月 31日まで
研究対象	2023年1月1日から2025年7月31日に当院で、OK法を施行しリハビリテーションを実施した患者様